

2 線路の両側を結ぶ人道橋の改修を

蕨駅から北に約360m、線路をまたいで芝園と芝樋ノ爪をつなぐ人道橋があります。この「無名12号」は、1967年にかけられた橋ですが、廃止の可能性も含めた検討がされています。線路の東西をつなぐ大切な生活橋です。廃止ではなく、安全で使いやすい改修・存続を求めています。



無名12号人道橋

3 芝園団地への医療施設誘致

かつて芝園町・芝富士地域に2カ所あった医療機関が廃業し、地域住民に医療施設へのアクセスが不便となりました。昨年、市が芝園団地での医院開業にかかる費用を一部補助をすることで誘致を試みたところ、令和5年10月までに新たな医院が開業の見込みとなっています。

4 夜間中学の校舎建設について

様々な理由で中学校での勉強を十分にできなかった方の学びの場である夜間中学は、現在、旧県陽高校の校舎（青木地区）を利用しています。新校舎を旧芝園小の校庭に建設中、令和6年2月に完成、3月から夜間中学として、移転、供用開始の予定です。



夜間中学完成予想図

5 特別支援学校 旧芝園中に設置か

肢体不自由児のための特別支援学校を旧芝園中に設置するよう埼玉県に要望したとのこと。多くの児童・生徒が市外の学校に通っている現状から、市内での建設は歓迎すべきことです。より良い学校を建設するために県陽高校跡を含めた複数の候補地を比較検討するよう求めています。

6 芝中の桜の植え替え計画を

芝中は桜の名所として周辺住民に愛されています。昭和22年の開校当初に生徒たちが植えた桜が、すでに老木となり、植え替えが必要な時期を迎えています。令和5年度に3本を植え替える予算が計上されました。敷地内の桜全体を更新するために、まずは「桜の再生計画」の必要性を訴えています。



咲き誇る芝中の桜

7 多文化共生社会へ

芝地区では外国人市民の割合は9.9%。芝園地域では56%に達しており、多文化共生社会を目指す活動は全国的に評価されています。日本人と外国人市民も互いに尊重しあいながら生活できる社会でありたいものです。そのために、日本人と外国人市民との交流の促進が必要です。10年にわたる海外生活の経験をもとに率先して交流推進に務めるとともに、市に対しては人員強化を求めています。

8 高齢者にやさしい健康のまち

川口市の65歳以上の高齢化率は23.0%、芝地区では25.2%と市内で3番目に高くなっています。医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供できる「地域包括ケアシステム」が提起されていますが、実現に向けて課題も少なくありません。誰もが健康に住み続けられるまちづくりのために全力で取り組んでいきます。

9 長期的視点での「芝地区振興計画」の策定を!

大人も子どもも高齢者もすべての人が暮らしやすいまちづくりをしていくために、芝地区の課題について、地域の視点で解決策を模索していくために、「地域別振興計画」（芝地区振興計画）の策定を求めています。

■いかり康雄 経歴

- 昭和38年 川口市生まれ(59歳)
- 昭和51年 川口市立芝南小学校卒業
- 昭和54年 川口市立芝中学校卒業
- 昭和57年 埼玉県立浦和高等学校卒業
- 昭和63年 早稲田大学政治経済学部卒業
- 民間シンクタンク主任研究員
- 平成5~16年 ヨーク大学(カナダ)「環境学修士」、北イリノイ大学(アメリカ)「Ph.D=政治学博士」
- 平成17年 帰国後、民間シンクタンク復職 取締役・主任研究員
- 平成27年 川口市議会議員に当選 <現在2期目>



いかり康雄 事務所

〒333-0866 埼玉県川口市芝2-5-24
TEL:048-268-2696 FAX:048-437-5585
E-mail: info@ikariyasuo.com
HP: http://ikariyasuo.com